

十日町市
Tokamachi
ぎかい
だより

令和8年8月10日発行

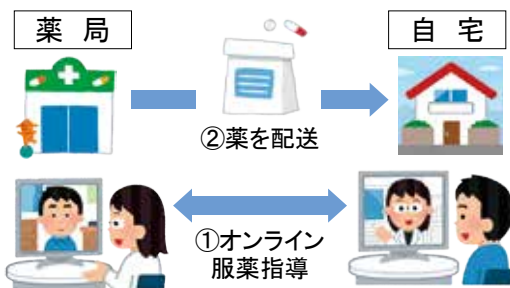
CONTENTS

No.91

議会をPick-Up!	2P
議案の審議結果	3P
一般質問	4-8P
政務活動費申請状況	9P
永年在職表彰	10P

酷暑

(写真：十日町高校写真部)



●薬剤配達支援事業
国民健康保険松之山診療所の門前薬局の閉店に伴い、移動手段を持たない高齢者宅に、市内薬局から薬剤を配達する際の配達料等を支援します。

Pick-Up 01

一般会計補正予算（第1・2号）

6月定例会では、市長提出議案49件、議会提出議案2件を審議しました。

●議会をPick-Up!

令和8年第2回定例会
会期 6月12日～23日（12日間）

6月定例会

●新規就農者育成総合対策事業
就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営開始から3年以内の認定新規就農者（原則50歳未満）に対し、初期の農業経営や生活に必要な支援を拡充します。

●省エネルギー対応農業生産条件整備支援事業
燃料や肥料の価格高騰、電気料金の値上げが続く中、生産コストが増加している農業経営体の経営の安定化を目的とし、燃料や電気使用量、または肥料費を10%以上低減することが見込まれる農業機械の導入を支援します。



●消雪パイプ改修事業
令和8年1月に井戸から大量の豆砂利の揚水による散水不能区間が確認されたことから、今冬の道路交通を確保するため、必要な井戸改修を行います。

地域活性化!!



●地域活性化起業人事業
総務省事業「地域活性化起業人制度」を活用した民間企業との協定を締結し、十日町市の認知度向上、誘客促進、地域産品の販路拡大などによる地域経済発展に取り組みます。



●流雪溝整備事業
令和9年度に発注を予定している中沢川揚水機場の受変電設備の納期に約1年間を要することから、令和9年度の試運転に間に合うよう前倒し発注するため、必要な経費を増額します。

●消雪パイプ更新事業
令和7年度の冬季において、地下水位の低下に起因する消雪パイプの漏水が発生、また、近年連続稼働による地下水需要の増大や降雪状況の変化等により、冬季の地下水環境が厳しさを増していることから、消雪パイプの漏水発生要因や地下水利用の現状等を定量的に把握・分析し、効果的かつ実現性の高い漏水対策を検討します。



●外交による中東情勢の平和的解決と国民生活の安定を求める意見書
議員が提出した次の意見書を可決しました。
内閣総理大臣をはじめ国の関係機関や国会に提出し、その実現を図るよう要望します。

Pick-Up 02

意見書の提出

●屋根雪除雪安全対策事業
屋根の雪下ろしに伴う事故を未然に防ぐため、命綱固定アンカー等安全設備の設置費に対する一部補助について、補助率及び補助上限額を拡充します。



賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、－：欠席）
※村山達也議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	かがやき						希 望				日本共産党 十日町市議団			新 成 会				無 会 派	
				富井高志	山家悠平	水落静子	鈴木一郎	市川直子	滝沢青葉	根津年夫	中林寛暁	遠田延雄	大嶋由紀子	滝沢繁	富井春美	樋口富行	星名大輔	野沢浩平	福岡哲也	俵山裕	小林正夫	村山達也
54	承認	15	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	※	

6月定例会 議決結果

議案番号等	件 名	付託委員会	採決状況	議決結果
市 長 提 出 議 案	51 専決処分の承認について（令和7年度十日町市一般会計補正予算〔第15号〕）	—	全員賛成	承認
	52 専決処分の承認について（十日町市税条例の一部を改正する条例）	—	全員賛成	承認
	53 専決処分の承認について（十日町市都市計画税条例の一部を改正する条例）	—	全員賛成	承認
	54 専決処分の承認について（十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	—	賛成多数	承認
	55 専決処分の承認について（令和8年度十日町市一般会計補正予算〔第1号〕）	—	全員賛成	承認
	56 農業委員会委員の任命について（村山 隆義〈むらやま たかよし〉氏）	—	全員賛成	同意
	57 農業委員会委員の任命について（高橋 松雄〈たかはし まつお〉氏）	—	全員賛成	同意
	58 農業委員会委員の任命について（岩田 稔〈いわたみのる〉氏）	—	全員賛成	同意
	59 農業委員会委員の任命について（田村 実義〈たむら みよし〉氏）	—	全員賛成	同意
	60 農業委員会委員の任命について（福嶋 恭子〈ふくしま きょうこ〉氏）	—	全員賛成	同意
	61 農業委員会委員の任命について（近藤 元〈こんどう はじめ〉氏）	—	全員賛成	同意
	62 農業委員会委員の任命について（児玉 芳洋〈こだま よしひろ〉氏）	—	全員賛成	同意
	63 農業委員会委員の任命について（村山 太郎〈むらやま たろう〉氏）	—	全員賛成	同意
	64 農業委員会委員の任命について（北村 公太郎〈きたむら こうたろう〉氏）	—	全員賛成	同意
	65 農業委員会委員の任命について（根津 徳男〈ねつ とくお〉氏）	—	全員賛成	同意
	66 農業委員会委員の任命について（長谷川 東〈はせがわ あすま〉氏）	—	全員賛成	同意
	67 農業委員会委員の任命について（古高 悟〈こたか さとる〉氏）	—	全員賛成	同意
	68 農業委員会委員の任命について（吉楽 広志〈きはら ひろし〉氏）	—	全員賛成	同意
	69 農業委員会委員の任命について（村山 浩一〈むらやま こういち〉氏）	—	全員賛成	同意
	70 農業委員会委員の任命について（樋口 則雄〈ひぐち のりお〉氏）	—	全員賛成	同意
	71 農業委員会委員の任命について（関口 稚子〈せきぐち わかこ〉氏）	—	全員賛成	同意
	72 農業委員会委員の任命について（太田 祐治〈おおた ゆうじ〉氏）	—	全員賛成	同意
	73 農業委員会委員の任命について（高橋 勝久〈たかはし かつひさ〉氏）	—	全員賛成	同意
	74 農業委員会委員の任命について（小柳 利勝〈こやなぎ としかつ〉氏）	—	全員賛成	同意
	75 農業委員会委員の任命について（高橋 陽一〈たかはし よういち〉氏）	—	全員賛成	同意
	76 農業委員会委員の任命について（今井 美津代〈いまい みつよ〉氏）	—	全員賛成	同意
	77 農業委員会委員の任命について（高橋 常雄〈たかはし つねお〉氏）	—	全員賛成	同意
	78 農業委員会委員の任命について（高橋 重人〈たかはし しげと〉氏）	—	全員賛成	同意
	79 農業委員会委員の任命について（佐藤 功〈さとう いさお〉氏）	—	全員賛成	同意
	80 人権擁護委員候補者の推薦について（村武 邦子〈むらたけ くにこ〉氏）	—	全員賛成	同意
	81 十日町市職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	82 市道の廃止について	産業建設	全員賛成	原案可決
	83 市道の認定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	84 市道の変更について	産業建設	全員賛成	原案可決
	85 十日町市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	86 令和8年度十日町市一般会計補正予算（第2号）について	—	全員賛成	原案可決
	87 令和8年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	—	全員賛成	原案可決
	88 令和8年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）について	—	全員賛成	原案可決
	89 令和8年度十日町市訪問看護事業特別会計補正予算（第1号）について	—	全員賛成	原案可決
	90 令和8年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	—	全員賛成	原案可決
	91 令和8年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	—	全員賛成	原案可決
	92 令和8年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）について	—	全員賛成	原案可決
	93 令和8年度十日町市水道事業会計補正予算（第1号）について	—	全員賛成	原案可決
	94 令和8年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第1号）について	—	全員賛成	原案可決
	95 令和8年度十日町市下水道事業会計補正予算（第1号）について	—	全員賛成	原案可決
	96 財産の取得について	—	全員賛成	原案可決
	97 財産の取得について	—	全員賛成	原案可決
	98 財産の取得について	—	全員賛成	原案可決
	99 財産の取得について	—	全員賛成	原案可決
議会提出議案	5 外交による中東情勢の平和的解決と国民生活の安定を求める意見書	—	全員賛成	原案可決
	6 議員派遣について	—	全員賛成	原案可決

ココが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、9人が私たちの生活に関わることについて質問をしました。

質問議員	質問事項	ページ
星名大輔	窓口受付時間について、防犯灯の設置・更新について	4
俵山 裕	下水道施設の老朽化対策・災害時の要配慮者の対応と体制	5
富井高志	観光振興と子どもたちの命を守る安全なバス運行について	5
野沢浩平	空き家対策と老朽構造物・危険樹木の総点検について	6
市川直子	将来を見据えた十日町市の業務改革について	6

質問議員	質問事項	ページ
樋口 富行	街中に公衆トイレの整備を・学校のトイレに生理用品を	7
大嶋由紀子	飛渡第一小学校統合後の教育活動継承について	7
滝沢 繁	雪問題について	8
富井 春美	中東情勢から生活を守る対策・学校統合と人口減少	8

質問 防犯灯設置事業は無くなりませんが、市の規則では、集落内の防犯灯の設置に係る経費及び維持管理に要する経費のうち、防犯灯本体に係る経費は、市の負担とされています。防犯灯

の設置及び更新それぞれにどのような関わっていく考えか。

答弁 窓口での市民の利便性向上に向け、総合案内の設置や受付番号の配布に加え、今年3月から本庁市民生活課で「らくらく窓口証明書交付サービス」を開始しました。この取り組みはマイナンバーカードがあれば、申請書を書くことなく短時間で証明書を受け取ることができるものです。この他にもマイナンバーカードを利用した各種証明書のコンビニ交付、子育てや介護等の分野で各種電子申請を可能とするなど、窓口手続時間の短縮と職員数減少への対応を図っています。窓口受付時間の短縮については、市民の利便性低下も懸念されることから、時間ごとの来庁者数を調査分析し、かつ市民の意見を聞くなどして慎重に検討していきます。



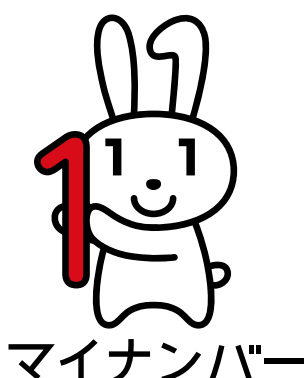
窓口受付時間について、 防犯灯の設置・更新について

星名大輔 議員



の設置及び更新それぞれにどのような関わっていく考えか。

答弁 市では、交通安全や犯罪防止を目的としたLED防犯灯現物支給事業を実施し、防犯灯の普及に努めてきました。本事業は要望のあった町内に対し、LED防犯灯の本体を現物支給する事業で、令和5年度に全町内に対し要望調査を行い、令和6年度に全ての要望箇所への支給が完了したことから現在、支給を中断しています。なお、更新時期を迎えるLED防犯灯もあることから、今後は要望を把握しながら、引き続き必要な支援を行っていきます。





下水道施設の老朽化対策・災害時の要配慮者の対応と体制

俵山 裕 議員



質問 下水道施設の老朽化に対する取り組みと改定される下水道使用料について①老朽化に対する整備計画と進捗状況②改定される下水道使用料と今後の具体的な整備内容との関連性を伺う。

答弁 ①当市の下水道普及率は95%を超え、全国と同規模自治体平均を上回っています。一方で、施設の老朽化が進んでいることから、平成29年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、重要度や緊急度の高い施設から対策を進めています。②下水道使用料は、人口減少による使用料収入の減少に加え、施設の老朽化に伴う更新に備えるため、令和8年6月使用分から改定します。今回の改定は事業の赤字補填だけでなく、施設の耐震耐水化、統合といった効果的・効率的な運用を図るための財源を確保するもので、将来に大きな負担を先送りすることなく、持続可能なサービス提供に努めます。

質問 過去の大規模災害の教訓を生かし防災対策を進めていますが、生活様式の変化や少子高齢化により、避難生活の多様化や支援者の人手不足など状況は日々変化している。日頃の備えとして防災学習や防災訓練の実施状況・災害時の要配慮者への支援体制を伺う。



下水処理センター

答弁 市では毎年、総合防災訓練や水防訓練、自主防災リーダー研修を実施するほか、令和7年度は自主防災シンポジウムを開催、自主防災組織などが行う防災活動を支援するなど地域防災力の強化に取り組んでいます。また、避難行動要支援者名簿を自主防災組織に提供し、災害発生時における要配慮者の迅速な避難支援活動を支えています。なお、避難所開設時には市から避難所担当職員を配置し、避難者の状況把握や、健康面で支援が必要な避難者は医療機関につなぎ、妊産婦は保健師が支援するなどの体制を整えています。



観光振興と子どもたちの命を守る安全なバス運行について

富井 高志 議員



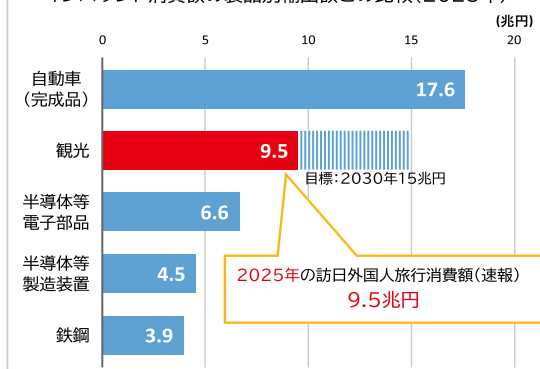
質問 本市にとって観光振興は重要な施策と考える。①大地の芸術祭での観光客の回遊や宿泊など、旅行消費額増加への取り組みについて②インバウンドに対する方針を伺う。

答弁 ①観光客の回遊・宿泊・消費拡大に向け、越後湯沢駅からの二次交通確保と情報発信を強化しています。高い付加価値を持つ光の館では増額改定後でも利用者が増加傾向にあり、需要に応じた価格設定が消費額の増加につながっていると考えます。また、古民家等を改装した高級民泊施設や廃校を利用したグランピング施設が、新しい宿泊形態としてリピーターの獲得につながっています。②インバウンドは「人数重視」から「消費額拡大」へ転換しています。大地の芸術祭や清津峡溪谷トンネルなど質の高い情報を発信し、台湾・シンガポール・欧米豪からの滞在型・体験型観光誘客に注力します。

質問 ①部活動等でのバス運行の安全確保②熊対策スクールバスの運用を伺う。

答弁 ①各中学校及び地域クラブに、改めて安全確保に万全を期すよう通知しました。大会会場への送迎は、原則として保護者が行うものとしています。

インバウンド消費額の製品別輸出額との比較(2025年)



出典:「経済波及効果」(観光庁) (https://www.mlit.go.jp/kankoch/tokei_hakusyo/keizaihakuyokoku.html) をもとに富井高志が2026年7月3日に抜粋・作成



空き家対策と老朽建造物・危険樹木の総点検について

野沢浩平 議員



質問 空き家問題が年々深刻化しており、特に豪雪による倒壊、景観悪化、周辺道路の閉塞などを引き起こす原因となります。

① 空き家の現状と今後の見通し ② 相続放棄した特定空き家の対策 ③ 空き家バンクの取り組み ④ 活用できる公共施設の再利用について伺う。

答弁 ① 令和6年度末時点で1,108件、5年間で約26%増加しています。今後も社会情勢等により空き家の増加が見込まれますが、同様の増加率で推移するかは不明です。② 定期的な見回りによる状況確認を行い、周囲に危害を及ぼす可能性のある場合は緊急安全措置の実施や略式代執行による除却を検討します。③ 昨年度は新規登録件数29件、成約件数15件と過去最多となりました。今後もVRによるオンライン内見や相談会の開催などにより成約率の向上に努めます。④ 新市誕生以降、廃校になった20校中17校が宿泊交流施設や農業関連施設等として雇用や産業振興に寄与するほか、文書保管庫などとしても有効活用を図っています。

質問 老朽建造物・危険樹木の総点検について、① 大地の芸術祭の作品や看板の点検方法 ② 公園や学校の樹木の点検状況を伺う。

答弁 ① 大地の芸術祭作品及び案内看板は毎年点検を実施し、安全性の確保に努めています。その他の案内看板は適時目視確認を行い、特に悪天候後には損傷や倒壊の危険性がないか確認しています。② 地元管理団体や指定管理者・学校管理員が通常の維持管理の中で点検を行い、異常が確認された場合、枝打ちや伐採を実施し、安全確保に努めています。また、必要に応じて樹木医による調査診断を行い、倒木の危険性が高い樹木は優先順位を付け伐採しています。



空き家再生!



将来を見据えた十日町市の業務改革について

市川直子 議員



質問 ① 人口減少や職員採用難が進む中、業務フローの見直しと市民の利便性向上、職員負担の軽減の観点からのさらなる業務改革について伺います。

② 全庁的な業務量調査を行っている中、今後どのような形で業務課題を把握し何を基準に改革を進めていくか伺います。③ 窓口業務について、効率化だけでなく、バックヤードを踏まえた現状分析について伺います。④ 業務改革で生み出された人的資源の部署横断的な課題解決等への活用について伺います。

答弁 ① 複数の業務でデジタル技術を活用し、事務処理の省力化・効率化を進めており、現在では会議録や要約資料の作成に生成AIを活用するなど、さらなる業務改善を図っています。また、憂慮される職員採用難に対しては、少人数でもサービスの質を低下させずに効率的な行政運営が可能となるよう、生成AI等に関する情報収集に努めながら、活用が見込める技術の導入を検討していきます。② 毎年度、予算編成時に各課において事務事業の見直しを行っています。併せて、翌年度の組織編成に向けて要員調査を実施し、各課が抱える業務課題を洗い出した上で、

● 将来人口の推計とシミュレーション

本市の独自推計と社人研の推計との比較(各年10/1現在)(人)

年	本市の独自推計①	社人研推計(H30) (①との差)	社人研推計(R5) (①との差)
R2 (2020)	51,140	—	49,820 (▲ 1,320)
R7 (2025)	47,552	47,330 (▲ 222)	44,799 (▲ 2,753)
R12 (2030)	44,058	43,571 (▲ 487)	40,416 (▲ 3,642)
R17 (2035)	40,695	39,908 (▲ 787)	36,402 (▲ 4,293)

出典:「第3期十日町市人口ビジョン」(https://www.city.tokamachi.lg.jp/material/files/group/3/dai3ki_jinkou_bijon.pdf) をもとに
市川直子が2026年6月28日に抜粋・作成

どのように人員配置すべきか検討しています。③ 現在は各課において、日々業務の見直しに取り組んでいる状況です。④ 業務効率化で生み出される人的リソースがある場合には、相談や支援業務に限らず、てこ入れが必要な部署に振り分けていく考えです。また、現在も関係部署が連携して課題解決に当たる業務体制となつていますが、今後も関係部署の連携を強化し、新たな課題や困難事例等に対して、機敏に対応できる組織づくりをしつかりと進めていきます。



街中に公衆トイレの整備を・ 学校のトイレに生理用品を

樋口 富行 議員



質問 ①車で移動する人はどこでも移動できるが、徒歩で移動する人、特に高齢者はトイレを借りるために施設に入りにくい人もいます。各中心地に公衆トイレを整備できないか。②清津峡のバス停でトイレに困っている観光客もいる。トイレ付き待合室を設置できないか。

答弁 ①十日町地域では、「せじろう」や「せじろう」、他の地域では支所庁舎などの公共施設で、どなたでもトイレをご利用できる環境を整えています。また、中里地域においては、「ユーモール」に加え、平日は中里支所のトイレをご利用いただけます。②清津峡のバス停にトイレ付き待合室を整備することについては、道路管理者である新潟県や交通事業者、地域の皆様と協議を重ねながら、関係機関への働きかけを行います。

質問 家庭状況の変化や経済状況等、貧困を理由に行政に援助を求めるのに躊躇する人もいます。女性の健康と権利の尊重、また性教育の一環として、生理用品を学校のトイレに設置できないか。

答弁 現在、以前から配置済みの松代小学校のほか、小学校1校、中学校2



清津峡入口バス停付近

校で個室トイレに生理用品を配置しています。また、市内全ての小中学校の保健室に生理用品を常備し、養護教諭が子どもの求めに応じて配布しています。個室トイレへの配置は心理的負担の軽減につながる一方で、保健室での配布は児童生徒の心身の状態や悩みを把握し、必要な支援につなげる大切な機会と捉えています。これら双方の利点を生かしながら、必要な時に確実に生理用品を利用できる体制を整え、安心して学校生活を送ることができるよう環境づくりに努めます。



飛渡第一小学校統合後の教育 活動継承について

大嶋 由紀子 議員



質問 飛渡第一小学校の統合に関する要望書が令和8年4月9日に提出されました。統合につきましては、地域や保護者の皆様が子どもたちの未来を真剣に考え、苦渋の中で大きな決断をされたと思います。①今までの飛渡第一小学校のユネスコ活動について②統合後のユネスコスクールの活動の可能性について③十日町市の財産としてユネスコ認定スクールという学校があることをどのように捉えているか。

答弁 ①県内では31校、本市では飛渡第一小学校と松之山中学校の2校がユネスコスクールに加盟しています。飛渡第一小学校は、学校と地区が一体となったふるさと環境学習を積み重ね、3年以上をかけて認定されました。ブナ林体験や飛渡川の水質調査、環境保全活動、農産物の栽培・販売など地域に根差した活動を展開し、ユネスコスクールの趣旨の実現を目指してきました。②学校統合が行われた場合のユネスコスクールの認定は、統合年度の翌年に統廃合に伴うユネスコスクール加盟国内審査が行われ、審査を通過するとユネスコ本部への申請、審査を経て認定となります。教育委員会としては、ユネスコスクールの活動の継承は、統合協議の中の重要な議題の一つであると捉えています。今後学校統合の協議が進んでいく中で、中条、飛渡地区の皆様のご意見と共に、両校がそれぞれ大切にしてきたものを尊重しながら、共に熟議を重ねていきたいと考えています。③子どもたちの心の中に平和をという地域の取り組みが評価された証であり、意義深いと思っています。縄文や里山の自然など、本市の価値を生かしたまちづくりにも通じることから、学校統合後も引き続きその意義を理解してもらえよう市として対応していく考えです。



市内の小中学校で唯一の
ユネスコ認定スクール飛渡第一小学校



雪問題について

滝沢 繁 議員



質問 除雪等で春先、道路修繕の必要箇所が多く、交通の支障になっており、未だに復旧されていない箇所もある。もっと早期に修繕できないものか。

答弁 舗装が傷んでできた穴などは、道路パトロールや市民からの通報により、修繕が必要な箇所の把握に努めています。春先の小規模道路修繕は、3月中に36件を工事契約し、速やかに着手しました。なお、広範囲に舗装が傷んでいる箇所については、修繕内容を検討しながら計画的に進めます。

質問 冬期集落保安要員に対し、12月に20万円を支給、4月に精算を行っているとのことだが、どのような支払い形態となっているのか。

答弁 市では、冬期集落安全・安心確保対策事業において、保安要員と委託契約を締結しています。希望者には20万円を前払いしています。シーズン終了後に実績に応じて精算する仕組みをとっています。なお、契約上、中間払いも可能であり、希望される場合は、申請いただければと思います。

質問 今冬、近隣市では災害救助法が適用されたが当市で



雪が降り続き自然落雪の屋根も落ちない

は適用されなかった。今回の対応と今後の基準見直しについて伺います。

答弁 災害救助法の適用基準値に平均で60センチ到達しておらず、今後降雪が見込まれないため、県と相談の結果、災害救助法の適用は断念するという流れになりました。過去にも柔軟な運用がされていますが、今年は今後の降雪が見込まれないという要因が大きく作用したものと考えています。

災害救助法の運用基準の見直しについては、知事から今冬の状況を踏まえ、市町村と連携し、地域の実情に即した基準となるよう見直しを図っていくとの答弁があり、今後、見直しが進むものと考えています。



中東情勢から生活を守る対策・学校統合と人口減少

富井 春美 議員



質問 原油・ナフサ不足等による生活、事業者への影響把握、相談窓口の設置や対策についてどのように考えるか。

答弁 中東情勢に伴う事業者向けの相談窓口は、市内の商工会議所・商工会に設置されています。今後も窓口の周知を図るとともに、寄せられた相談内容や事業者の要望を把握し、必要な情報収集に努めます。

質問 人口減少は、厳しい現実。文部科学省の手引きには、学校統合を進める一方、小規模校を存続させる場合の内容もある。そこで、①小規模校存続について②みんなの学校プロジェクトのサテライト校や1校にする反対の意見についてどのように考えるか。

答弁 ①文部科学省の手引では、第4章で小規模校を存続する場合の教育の充実が示される一方、その前段に第1章から第3章まであり、ここでは児童生徒の教育条件の改善に向けた学校再編の意義とその手法が多角的かつ具体的に示されています。教育委員会では、児童生徒にとって望ましい教育環境の確保を基本に、学校規模の適正化と地域の実情の双方を踏まえた検討を進めていきます。②サテライト校について、現行制度では法的な位置付けがなく、

教員配置や運営面で課題があることから、制度改正の動向を見極める必要があります。また、今後の学校整備では、これからの時代に即した学校環境の整備が必要であると考えています。

質問 人口増加に向かうまちづくりが重要と考えるが、市長はいかがか。

答弁 県は、今世紀末に人口100万人での定常化を目標に掲げており、こうした中での地域づくりが求められています。人口増だけを目指すのではなく、10年、30年先を見据えた地域の在り方について、市民や議会と議論しながら取り組むことが重要と考えます。

「4章 小規模校を存続させる場合の教育の充実」

(2) 小規模校のメリット最大化策

○教育の機会均等を確保する観点からまず検討しなければならないのは、小規模であることのメリットを最大限に生かし、児童生徒への教育を充実させる方策です。

【少人数を生かした指導の充実】

○一般に小規模校には下記のようなメリットが存在すると言われています。

- ①一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい
- ②意見や感想を発表できる機会が多くなる
- ③様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる
- ④複式学級においては、教師が複数の学年間を行き来する間、児童生徒が相互に学び合う活動を充実させることができる
- ⑤運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える
- ⑥教材・教具などを一人一人に行き渡らせやすい。例えば、ICT機器や高価な教材でも比較的少ない支出で全員分の整備が可能である
- ⑦異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる
- ⑧地域の協力が得られやすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい
- ⑨児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる

出典：平成27年1月27日 文部科学省

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～ https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2015/07/24/1354768_1.pdf

上記手引より富井春美が2026年6月15日に第4章のうち(2)の一部を抜粋したものを

お知らせします!

令和8年度 政務活動費申請状況

各会派の交付申請書や収支報告書等はコチラ→



十日町市では、地方自治法及び十日町市議会政務活動費の交付に関する条例の規定に基づき、市議会議員の市政に関する調査研究などの活動に資するために必要な経費の一部として、申請を行った会派※ に対し政務活動費を交付しています。会派に所属する議員1人につき年額15万円を交付し、残額が生じた場合は返還します。

※所属議員が1人の場合も含みます。

●政務活動費交付申請一覧

会 派	所 属 議 員	交 付 額 (円)
か が や き	富井高志、山家悠平、水落静子、鈴木一郎、市川直子、滝沢青葉、村山達也	1,050,000
希 望	根津年夫、中林寛暁、遠田延雄、大嶋由紀子	600,000
新 成 会	星名大輔、野沢浩平、福崎哲也、俵山 裕	600,000
日本共産党十日町市議団	滝沢 繁、富井春美、樋口富行	450,000
だ い ち	小林正夫	150,000
合 計		2,850,000

所管事務調査(管外視察)を行いました

視察報告書はコチラ→
※令和8年度分は9月頃掲載予定



【総務文教常任委員会】

■期 日

令和8年7月21日～23日

■視察先

①宮城県白石市②岐阜県高山市③岐阜県飛騨市

■視察項目

①学びの多様な学校について②歴史的建造物の保存・整備の取り組みについて③飛騨市ファンクラブ事業及びヒダスケ事業について

【産業建設常任委員会】

■期 日

令和8年7月22日～24日

■視察先

①北海道美瑛市②北海道石狩市

■視察項目

①スマート農業の取り組みについて②ゼロカーボンシティ達成に向けた取り組みについて

【厚生常任委員会】

■期 日

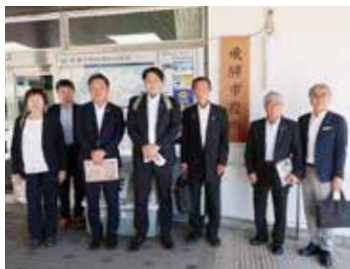
令和8年5月18日～20日

■視察先

①②高知県高知市

■視察項目

①書かないワンストップ窓口の取り組みについて②オーテピア高知声と点字の図書館における障がい福祉の取り組みについて



永年在職表彰



去る4月23日に開催された第101回北信越市議会議長会定期総会、および5月27日に開催された第102回全国市議会議長会定期総会において、永年在職表彰を受けました。

◎在職20年以上 小林正夫 議員

小学生が議会を傍聴しました

議会が市民生活と深く関わっていることを学ぶため、6月12日に松代小学校の6年生12名が6月議会を傍聴しました。



ラジオ「FMとおかまち」(78.3MHz)で一般質問を放送しています!

一般質問をした当日、夕方7時から放送していますので、ぜひお聴きください。

インターネットで本会議の様子を配信しています!



本会議の様を生中継・録画中継しています。ホームページからアクセスしてください。スマートフォン、タブレットからも視聴できます。



十日町市議会

検索

市議会の詳しい情報は、十日町市議会のホームページをご覧ください。



今号の表紙は

十日町高校写真部

の作品です。



今年度の十日町高校写真部は1年生4名、2年生9名、3年生3名で活動しています。

学校行事の撮影やコンテストへの応募、撮影会への参加など、楽しく写真を撮っています。私達らしい、今しか撮れない写真を撮っていきたいです。

あとがき

『たとえ明日、世界が終わるとしても今日私はリンゴの木を植える』

これは、ドイツの神学者であるマルティン・ルター之言葉です。結果がどうなろうと希望を捨てずに今を生き、未来を信じて目の前のやるべきことを淡々と行うという意味があります。

我々の使命は議会を通じてより暮らしやすい社会を実現することです。そのことを広く皆様に知っていただくために、議会の出来事や活動内容を分かりやすくお知らせしています。十日町市の明るい未来を信じて今できることをひとつずつ皆様へお伝えしてまいります。

滝沢青葉

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501

十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119

FAX 025-757-5999